

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090104 温暖化対策事業		担当部課	部課コード	090100	2998-9133	
開始年度		平成 17 年度		終了年度		平成 年度		
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	第2期所沢市環境基本計画、所沢市地球温暖化対策実行計画						
	関連・類似事業	環境学習・支援事業						
	根拠法令	温暖化対策の推進に関する法律 所沢市環境基本条例						
総合計画の体系	章	環境・自然	節	環境との共生	基本方針	地球温暖化の防止に取り組みます		
事業開始の背景	地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年法律第117号)の制定を受け、市自らの事務事業から生じる温室効果ガスの排出抑制を図るため、平成13年3月に所沢市地球温暖化対策実行計画を策定し、当該計画に基づく関係事業を開始した。その後、法律改正等を踏まえ、当該計画の改定(平成17年度、22年度改定)を行っている。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 地球温暖化の防止に向け、市域において最も排出割合が高い民生・家庭部門に係る排出量を削減することを目的としている。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)							
	市民	対象数	単位	平成 26 年度	343,067	人		
				平成 27 年度	343,321	人		
事業の具体的な内容及び実施方法 (啓発事業) ・冬のエコライフデーの実施:家庭でできる環境配慮行動の習慣化・定着化を促すため、チェックシートを配布・回収し、その効果を公表する。 ・ところバスポディーラッピングの実施:環境配慮行動(主に節電)の実践を促すため、ところバスにラッピング啓発を行う。 ・環境講演会の開催:市民の環境問題への理解を深め、家庭での環境配慮行動の促進を図るため、環境に関する様々なテーマについて、講演会を開催する。 ・ライトダウンイベントの実施:会場周辺の照明を消灯し、キャンドルを灯しミニコンサートなどを行い、過度なエネルギーへの依存やライフスタイルを見直してもらおう機会とする。 [まちごとエコタウン推進基金] ・市有施設をはじめ、市民・事業者の創エネ・省エネに係る取り組みを推進するため、本基金を関係事業に充当するとともに、メガソーラー所沢の売電収入等を資金として積み立てる。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			792	784	754		
	決算(見込み含む)			715	726			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.40 人)	(0.00 人)	(0.20 人)			
	正規職員人件費	0.85 人	7,413	1.15 人	9,959			
	事業費合計			8,128	10,685			
財源内訳	一般財源			8,128	10,685	0		
	国・県支出金			0				
	その他()			0				
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	エコライフデーの参加人数	実参加数(年間参加数)	人	27,681	32,386	33,600	36,000
		環境講演会の参加人数	実参加数(年間参加数)	人	741	575	800	1,000
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	市域における温室効果ガス排出量の削減率	平成19年度を基準年度とする温室効果ガス排出量の削減率	目標値	12	1.62	2.35	3.8
				実績	-1.9	集計中	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図 <input type="checkbox"/> 実績 縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	15.83	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	各種啓発事業については、情報提供の方法として従来の広報やポスター等に加え、フェイスブックやほっとメール等の様々なツールを用いることで、より多くの市民の方に参加していただけるよう周知を図った。 ・市域の温室効果ガス排出量を削減するため、まちごとエコタウン推進基金を活用して、道路照明灯や公園灯のLED化整備事業等を実施した。							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	地球温暖化の防止に向け、温室効果ガス排出量の削減を図るため、今後も当該事業に係る事務の改善と効率化を図りつつ、本事業を継続していく。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	同上			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
	夏期の節電対策の一環として、新たに「トコエコグリーンキャンペーン」を展開し、楽しく・無理なく節電を行う市の率先垂範を市民にアピールしている。その他啓発事業においては、より多くの市民の方々に参加していただけるよう、各種イベント・事業に工夫・改善を加えるとともに、各種団体や関係者の協力を得て実施している。				引き続き、市域の温室効果ガス排出量削減のため、各種啓発事業の改善・効率化を図りつつ実施するとともに、まちごとエコタウン推進基金の効果的な充当事業の立案・調整を図っていく。			
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	環境政策課長 大館 真哉				
環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化の防止	6-1環境情報の収集・活用	有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無	
		6-2環境教育・環境学習の充実	6-3参加と協働の推進			緊急事態	無	